

小委員会の調査報告書

教科名	美術科	委員長名 <u>小林 清一</u>
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、美術科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(木)から7月21日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日(水)に、稚内総合文化センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者は、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各学科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1～2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他		

様式 2

教科名	美術科		
	出版社名	教科書名	番号
	9 開隆堂	美術 1 美術 2・3	美術 701 美術 801
取扱内容、 内容の構成・ 排列	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 観察して表す活動、情景を描く活動、版の特徴を活かして表す活動、しぐさや動きを捉えて表す活動、材料の特性を生かして表す活動、形や色彩、質感を捉えて立体に表す活動を通して、対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさをもとに豊かに発想し構想することで主題を生み出し、創造的に表現の構想を練り、創意工夫して表現する。</p> <p>第2・3学年～ 情景を描く活動、自分を見つめて表す活動、空想の世界を表す活動、墨の濃淡を生かして表す活動、感情を形や色で表す活動、版の特性を活かして表す活動、場所や場面をとらえ立体に表す活動、形や色彩を単純化し立体に表す活動、環境と響き合う形や色彩を表す活動、映像メディアを活用して表す活動、漫画の手法を生かして表す活動、ともに作る活動を通して、独自の・総合的な見方や考え方を培い、そこから豊かに発想し構想することで主題を生み出し、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 構成や装飾をデザインする活動、単純化や繰り返しなどの工夫をして表す活動、伝えたいことをもとに文字やマークをデザインする活動、紙や粘土、木などの材料の特性を活かしてつくる活動を通して、目的や機能を考え、表現したい意図に合うような構成や装飾を考えたり、使用する材料などの美しさなどを考え、用途や機能、使用するものの気持ちなどと合わせて表現の構想を練り、意図に応じた材料や用具の生かし方等を考えて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ ピクトグラムやピクトグラムの配置をデザインする活動、ポスターをデザインする活動、錯視の効果を活用しデザインする活動、わかりやすいデザインをする活動、パッケージや本のデザインをする活動、安心や安全に役立つデザインをする活動、空間を演出する活動、明かりの効果を生かしてつくる活動、伝統工芸の良さを活かしてつくる活動などを通して、目的や機能を考えながら形や色彩、図柄、材料、光などの効果や組み合わせを簡潔にしたり、統合化したり、使用する者の気持ちや造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練り、材料や用具、表現方法の特性などを考えて創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 若冲の作品の多様な表現方法について話し合う活動、作者の言葉や作品から感じ取ったことを伝え合う活動、生活や社会を豊かにするデザインについて考える活動、身近な用具の機能と美しさについて考える活動、地域に伝わる祭りや工芸について調べる活動を通して、作品などに対する見方や考え方を広げ、美術文化に対する関心を高め、造形的なよさや美しさなどを感じ取る。</p> <p>第2・3学年～ ゴッホが描いた多くの自画像から表現の変化を感じ取る活動、生命感あふれる様々な作品から、表現方法の工夫を感じ取り、自分に合った表現方法を考える活動、絵巻物や屏風、浮世絵などの日本美術よさや美しさを感じ取る活動、日本美術がジャポニズムに与えた影響について話し合う活動、古代の人々の造形表現について話し合う活動、仏像彫刻がもつ美しさについて話し合う活動、ルネサンス美術、ロマン主義、印象派の美術について考える活動、伝統工芸品について調べる活動、ピカソの『ゲルニカ』制作の意図について話し合う活動、作品が伝えたかったことは何か話し合う活動、リノベーションについて話し合う活動、社会の問題に対し美術ができることを話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、生活を豊かにする美術の働きについて理解し、美術文化の継承と創造への関心を高める。</p>		

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>全ての題材において、主体的に学習しやすい情報図版を多数掲載している。また活動を深められるよう学習のポイントやアイディアスケッチなど、発想・構想のヒントを掲載している。</p> <p>第1学年～ 観察して表す活動、材料の特性を生かして表す活動、形や色彩、質感を捉えて立体に表す活動単純化や繰り返しなどの工夫をして表す活動、伝えたいことをもとに文字やマークをデザインする活動、紙や粘土、木などの材料の特性を活かしてつくる活動作者の言葉や作品から感じ取ったことを伝え合う活動、生活や社会を豊かにするデザインについて考える活動、身近な用具の機能と美しさについて考える活動などを通して、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が展開できる。</p> <p>第2・3学年～動きや空間を表す活動、視点を変えて表す活動、材料や用具の特性を生かして表す活動、心のイメージを形や色彩に表す活動、伝統工芸のよさを生かしてつくる活動、光の効果を生かして空間を演出する活動、ピクトグラムなどの視覚記号のデザインや伝えたい内容をポスターにデザインする活動、使う人の立場を考えたり、身近な環境を豊かにするデザインについて考える活動、ルネサンスの表現のよさを味わう活動、制作の意図について話し合う活動などを通して、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が展開できる。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「発見と創造」をテーマに構成され、「学びの地図」に学び方が示されたうえで「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」という学習活動ごとにまとめられている。</p> <p>第2・3学年～「探求と継承」をテーマに構成され、「絵や彫刻など」「鑑賞」「デザインや工芸など」「まとめ」「学びの資料」という学習活動ごとにまとめられている。</p> <p>※題材の全てに「観点別の目標」が記載され「学習のポイント」や「他教科との連携」「学習する上で参考となるページの関連付け」などの情報がちりばめられている。</p>
使用上の配慮等	<p>○ 興味・関心を高めることができるような資料や参考作品や図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションや特設ページを設け、美術科で育む資質・能力について保護者や教科書を見る人たちと共有できるよう工夫されている。 ・全学年の巻末で「学びの資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介している。 ・社会や、地域文化、美術以外の分野の人と美術との関りを取り上げ、美術での学習が社会とつながっていることを示している。 <p>○ 北海道とかかわりのある内容、北海道の素材等</p> <p>第1学年～ 「札幌大通公園の四季の彩」「路面電車の走行レーンデザイン」「札幌芸術の森美術館」などが紹介されている。</p> <p>第2・3学年～ エミール・ガレ氏の「鯉文花器」、イサム・ノグチ氏のAKARI、安田侃氏の彫刻美術館アルテピアッツァ美唄や札幌駅に展示されている「妙夢」が紹介されている。アイヌ民族財団蔵のルウンペについて紹介されている。</p> <p>○ 全学年の題材は見開き構成になっており、学びの目標やインデックス、題材名など学習の流れに沿った構成で、授業展開がイメージしやすいレイアウトになっている。</p> <p>○ 学習活動ごとに色分けがされ、学習のポイントや注意点などが範読しやすいよう、枠を使用されている。また、二次元コード（QRコード）を読み取ることで、教科書掲載以外の作品例や動画を視聴できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 「学習の進め方への配慮」「道徳との関連への配慮」「ICT活用への配慮」「保護者への配慮」「伝統文化、言語活動の充実、他教科との関連」など、意識的な配慮が特色となっている。</p>
その他	<p>※中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

観 点	番号	発行者の番号・略 称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			38・光村	第1学年 第2・3学年	美術・702 美術・802

- 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。
- 第1学年～ 観察して表す活動、しぐさをとらえて表す活動、情景を表す活動、イメージや言葉から表す活動を通して、対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさをもとに豊かに発想し構想することで主題を生み出し、創造的に表現の構想を練り、創意工夫して表現する。
- 第2・3学年～情景を描く活動、空想の世界を表す活動、錯覚を生かして表す活動、墨の効果を生かして描く活動、感情を形や色で表す活動、環境と調和する彫刻をつくる活動、躍動感を捉え彫刻をつくる活動、思い出や自分を見つめて表す活動を通して独創的・総合的な見方や考え方を培い、そこから豊かに発想し構想することで主題を生み出し、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現する。
- デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。
- 第1学年～ 構成・情報（文様・絵文字・シンボルマーク）・気持ちをデザインする活動、粘土や木などの特性を生かしてつくる活動を通して、目的や機能を考え、表現したい意図に合うような構成や装飾を考えたり、使用する材料などの美しさなどを考え、用途や機能、使用するものの気持ちなどと合わせて表現の構想を練り、意図に応じた材料や用具の生かし方等を考えて創意工夫し、美しく表現する。
- 第2・3学年～メッセージ・情報（図記号、マーク、ピクトグラム）・使いやすさ・季節感・地域の魅力・パッケージをデザインする活動、あかりの効果を生かして作る活動を通して、目的や機能を考えながら形や色彩、図柄、材料、光などの効果や組み合わせを簡潔にしたり、統合化したり、使用する者の気持ちや造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練り、材料や用具、表現方法の特性などを考えて創造的に表現する。
- 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。
- 第1学年～ 版の表現のよさや美しさを感じ取る活動、絵の中に入り込んで作者の意図を感じ取る活動、風神雷神を表した作品を比較鑑賞して作品の見方や感じ方を広げる活動、さまざまなカップの用途による材料や形の違いを感じ取る鑑賞活動、世界の仮面の造形的な特徴を比べる活動表現を通して、作品などに対する見方や考え方を広げ、美術文化に対する関心を高め、造形的なよさや美しさなどを感じ取る。
- 第2・3学年～レオナルド・ダ・ヴィンチの作品群から表現の意図や工夫を感じ取る活動、日本の美術が19世紀の西洋美術に与えた影響を考える活動、絵巻物と漫画の時代を超えた表現の比較を考える活動、ピカソの「ゲルニカ」制作の意図について話し合う活動、様々な椅子や建築物を鑑賞し、デザインの役割や働きについて見方を深める活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、生活を豊かにする美術の働きについて理解し、美術文化の継承と創造への関心を高める。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。

	<p>同じ課題に取り組む中学生の製作過程やその思いが多数掲載されている。また、学習を支える資料として様々な技法の解説を掲載している。</p> <p>第1学年～ 観察して表す活動、しぐさをとらえて表す活動、情景を表す活動、イメージや言葉から表す活動、構成・情報（文様・絵文字・シンボルマーク）・気持ちをデザインする活動、粘土や木などの特性を生かしてつくる活動、版の表現のよさや美しさを感じ取る活動、絵の中に入り込んで作者の意図を感じ取る活動、風神雷神を表した作品を比較鑑賞して作品の見方や感じ方を広げる活動、さまざまなカップの用途による材料や形の違いを感じ取る鑑賞活動、世界の仮面の造形的な特徴を比べる活動表現を通して、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が展開できる。</p> <p>第2・3学年～情景を描く活動、空想の世界を表す活動、錯覚を生かして表す活動、墨の効果を生かして描く活動、感情を形や色で表す活動、環境と調和する彫刻をつくる活動、躍動感を捉え彫刻をつくる活動、思い出や自分を見つめて表す活動、メッセージ・情報（図記号、マーク、ピクトグラム）・使いやすさ・季節感・地域の魅力・パッケージをデザインする活動、あかりの効果を生かして作る活動、レオナルド・ダ・ヴィンチの作品群から表現の意図や工夫を感じ取る活動、日本の美術が19世紀の西洋美術に与えた影響を考える活動、絵巻物と漫画の時代を超えた表現の比較を考える活動、ピカソの「ゲルニカ」制作の意図について話し合う活動、様々な椅子や建築物を鑑賞し、デザインの役割や働きについて見方を深める活動を通して、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が展開できる。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「生活をいろいろ文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>
<p>使用上の留意事項</p>	<p>○北海道とかかわりのある内容、北海道の素材等</p> <p>第1学年～ アイヌ民族の衣服の文様、北海道立近代美術館のゴッホ展のポスター紹介</p> <p>第2・3学年～二風谷イタ、アットウシアミブ、道立近代美術館蔵のエミール・ガレの作品紹介 モエレ沼公園とブラック・スライド・マントラ～イサム・ノグチ、六花亭の紙袋の紹介</p> <p>○ 全学年の巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、マッピングや話合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり、第2・3学年の様々な地域の美術文化の鑑賞題材で、伝統的なアイヌ文様を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力を囲みで示したり、表現につながる鑑賞作品と鑑賞が深まる問いを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、作品をつくる際の安全について注意喚起のマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年 第2・3学年 第2・3学年	美術・703 美術・803 美術・804	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 絵や彫刻などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～</p> <p>観察して表す活動、特徴をとらえ形や質感を表す活動、形や色彩・構図などを工夫して表す活動、表情やしぐさを捉えて表す活動、材料の特性を生かして表す活動、墨の効果を生かして表す活動、版の特性を生かして表す活動を通して、対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさをもとに豊かに発想し構想することで主題を生み出し、創造的に表現の構想を練り、創意工夫して表現する。</p> <p>第2・3学年～</p> <p>動きや空間を表す活動、視点を変えて表す活動、材料や用具の特性を生かして表す活動、心のイメージを形や色彩に表す活動、写真表現の特性を生かして表す活動、墨の濃淡を生かして表す活動、自分を見つめて表す活動、空想の世界を表す活動、ともにつくる活動、漫画の手法を生かして表す活動、材料の特性を生かして自分のイメージを表す活動、光の効果を生かして表す活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、そこから豊かに発想し構想することで主題を生み出し、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸などについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～</p> <p>自然物や人工物などの特徴や形や色彩の工夫により構成や文字・マークなどをデザインする活動、紙や木・焼き物などの特性を生かしてつくる活動、情報を整理し、イラストや文字などでデザインする活動を通して、目的や機能を考え、表現したい意図に合うような構成や装飾を考えたり、使用する材料などの美しさなどを考え、用途や機能、使用するものの気持ちなどと合わせて表現の構想を練り、意図に応じた材料や用具の生かし方等を考えて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～</p> <p>伝統工芸のよさを生かしてつくる活動、光の効果を生かして空間を演出する活動、ピクトグラムなどの視覚記号のデザインや伝えたい内容をポスターにデザインする活動、木や革・金属や粘土・布など、材料の特性を生かしてつくる活動、機能や目的を考えたパッケージや手作り製品をつくる活動、映像表現を取り入れてデザインする活動、環境や未来を考えてデザインする活動などを通して、目的や機能を考えながら形や色彩、図柄、材料、光などの効果や組み合わせを簡潔にしたり、統合化したり、使用する者の気持ちや造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練り、材料や用具、表現方法の特性などを考えて創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～</p> <p>原始の表現を味わう活動、絵の中に入り込んで作者の意図を感じ取る活動、屏風の表現について考える活動、自然の造形を取り入れたデザインを感じ取る活動、祭りに見られる造形について考える活動を通して、作品などに対する見方や考え方を広げ、美術文化に対する関心を高め、造形的なよさや美しさなどを感じ取る。</p> <p>第2・3学年～</p> <p>現代美術について考える活動、浮世絵や伝統工芸などの造形的なよさや技法を感じ取る活動、日本美術がジャポニズムに与えた影響について話し合う活動、使う人の立場を考えたり、身近な環境を豊かにするデザインについて考える活動、ルネサンスの表現のよさを味わう活動、制作の意図について話し合う活動、仏像の表情や動きの違いを味わう活動、美術文化の継承の意義や方法について考える活動、地域文化を生かす鉄道のデザインについて考える活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、生活を豊かにする美術の働きについて理解し、美術文化の継承と創造への関心を高める。</p>			

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>全ての題材において、主体的に学習しやすい情報図版を多数掲載している。また活動が深まるコラムやアイディアスケッチなど、発想・構想のヒントを掲載している。</p> <p>第1学年～ 観察して表す活動、形や色彩・構図などを工夫して表す活動、材料の特性を生かして表す活動、自然物や人工物などの特徴や形や色彩の工夫により構成や文字・マークなどをデザインする活動、紙や木・焼き物などの特性を生かしてつくる活動、原始の表現を味わう活動、絵の中に入り込んで作者の意図を感じ取る活動、自然の造形を取り入れたデザインを感じ取る活動などを通して、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が展開できる。</p> <p>第2・3学年～ 動きや空間を表す活動、視点を変えて表す活動、材料や用具の特性を生かして表す活動、心のイメージを形や色彩に表す活動、伝統工芸のよさを生かしてつくる活動、光の効果を生かして空間を演出する活動、ピクトグラムなどの視覚記号のデザインや伝えたい内容をポスターにデザインする活動、使う人の立場を考えたり、身近な環境を豊かにするデザインについて考える活動、ルネサンスの表現のよさを味わう活動、制作の意図について話し合う活動などを通して、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、考えを広げたり深めたりする活動が展開できる。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「美術との出会い」をテーマに構成され、「鑑賞」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びを支える資料」という学習活動ごとにまとめられている。</p> <p>第2・3学年～ 「学びの実感と広がり」(上)「学びの探求と未来」(下)をテーマに構成され、1年生と同じように学習活動ごとに題材がまとめられている。</p> <p>題材の全てに「造形的な視点」を位置づけ、「他教科との連携」や「地域社会との連携」「キャリア教育」などの情報がちりばめられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 興味・関心を高めることができるような資料や参考作品や図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションや特設ページを設け、美術科で育む資質・能力について保護者や教科書を見る人たちと共有できるよう工夫されている。 ・全学年の巻末で「学びを支える資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介している。 ・社会問題や、地域文化、美術以外の分野の著名人も多く取り上げて、美術での学習が社会とつながっていることを示している。 <p>○ 北海道とかかわりのある内容、北海道の素材等</p> <p>第1学年～ 大西重成氏の「足長グモ」「札幌市き章」「さっぽろ雪まつり」などが紹介されている。</p> <p>第2・3学年(上)～ 本濃研太氏の「チンパンジー」、エミール・ガレ氏の「鯉文花器」、イサム・ノグチ氏のモエレ沼公園、安田侃氏の「生誕」が紹介されている。</p> <p>第2・3学年(下)～ アイヌ民族財団蔵のアットウシや二風谷イタについて紹介されている。</p> <p>○ 全学年の題材は見開き構成になっており、インデックスや題材名、学びの目標など学習しやすく、授業展開がイメージしやすいレイアウトになっている。</p> <p>○ 各題材の内容ごとに色で示すなど簡読しやすい文字や配色にしたり、二次元コード(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○ 「特別支援教育への配慮」「道徳との関連への配慮」「ICT活用への配慮」「保護者への配慮」「伝統文化、言語活動の充実、他教科との関連」など、意識的な配慮が特色となっている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>